

2024年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

2024.02.13

Supplementary Materials for Financial Results

株式会社 ヤギ 証券コード : 7460

おかげさまで創業130周年を迎えました

これまでとこれからの、心よりの「感謝と決意」を込めて



当社は、おかげさまで2023年10月16日をもちまして、1893年（明治26年）の創業から130周年を迎えました。これまで、当社ならびに当社グループを支えていただきました全てのステークホルダーの皆さまに心より感謝申し上げます。

昨年12月・本年1月には、当社の従業員に向けた記念パーティーを大阪・東京の2拠点で開催いたしました。様々な時代の変化に対応しながら、変わらず「終始一誠意」の精神を大切にこれからも進んでいくという社長の八木による記念挨拶にはじまり、130年の歩みを振り返りながら、これからの未来に想いを馳せた2日間となりました。

この先も人と社会に寄り添い続けるために、持続可能な社会に向けた決意を新たに、従業員一丸となって企業価値向上に努めてまいります。引き続き、当社グループへのご支援、ご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

P4	2024年3月期 第3四半期 決算ポイント(連結)
P5	業績内容(連結)
P8	セグメント別の業績(連結)
P13	バランスシート(連結)
P14	中期経営計画の取り組み状況
P19	株主還元方針
P20	【ご参考】セグメント体制一覧

2024年3月期 第3四半期 決算ポイント(連結)

■ 中期経営計画2026「Heritage to the future」初年度

最終年度 財務目標「売上高950億円、経常利益32億円」達成に向けて進行中
通期予想達成に向けて順調に推移

業績概要

- 売上は前年同期に比べてマテリアル事業の国内需要の減退により減収
- 利益は期首からの売上総利益率の改善効果などにより増益
- アパレル事業、ブランド・リテール事業の伸長が利益に貢献

財務基盤

- 親会社株主に帰属する四半期純利益は17.7億円(前年同期比+162.6%)
- 自己資本比率は52.1%(前期比+2.4pt)

通期予想

- 2023年11月10日公表の「通期連結業績予想及び配当予想」から変更なし
- 2024年3月期末予想ROEは5.2%(前期比+2.3pt)

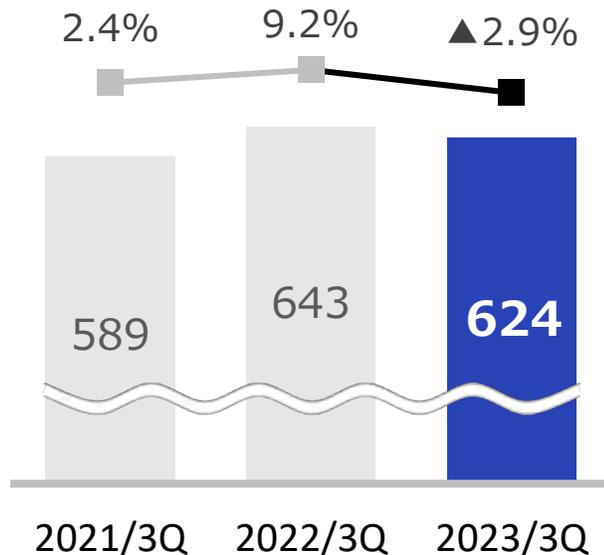
業績内容 | 3カ年推移(連結)

- 持続的成長の基盤づくりに注力し、価格転嫁やブランド販売の堅調な進捗等が利益率向上に貢献
- 地政学リスクの継続や円安基調、原材料及びエネルギー価格高騰への取り組み対応は継続課題

[単位:億円]

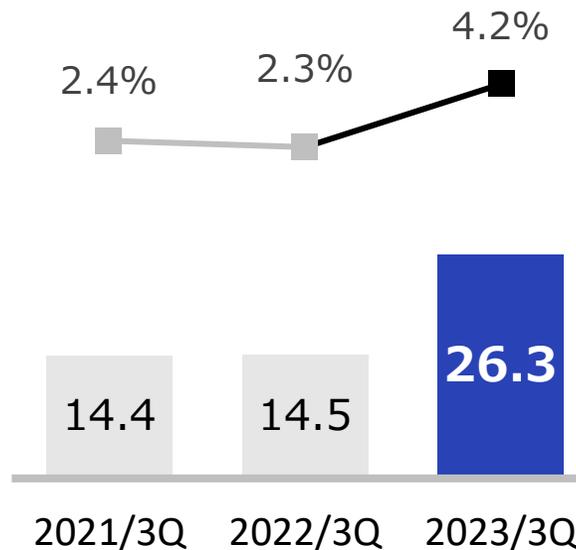
売上高

売上高成長率



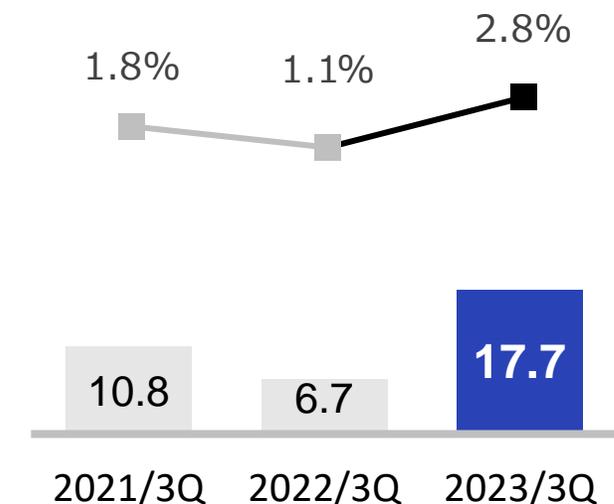
経常利益

経常利益率



親会社株主に帰属する 四半期純利益

四半期純利益率



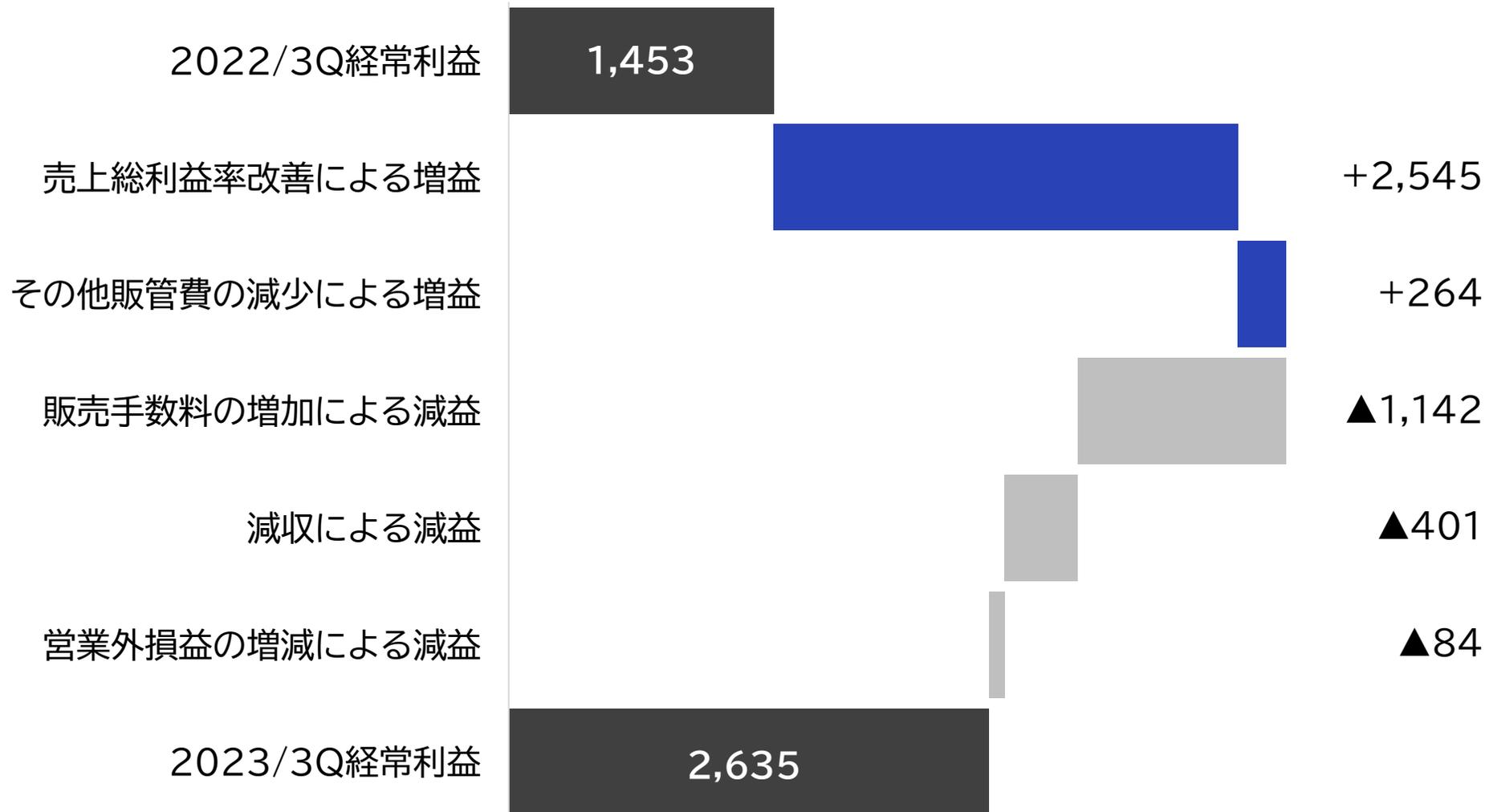
業績内容 | 通期業績予想に対する進捗状況(連結)

- インバウンド需要の回復等もあり、アパレル、ブランド・リテール事業は堅調に推移したが、今後も不透明な外部環境の変化等への対応に注力

[単位:億円]	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	増減		通期業績予想	
			(金額)	(率)	公表値	進捗率
売上高	643.5	624.6	▲18.9	▲2.9%	800.0	78.1%
営業利益	12.0	24.7	+12.6	+105.0%	27.7	89.3%
経常利益	14.5	26.3	+11.8	+81.3%	30.0	87.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6.7	17.7	+11.0	+162.6%	19.6	90.6%

業績内容 | 経常利益の増減要因(連結)

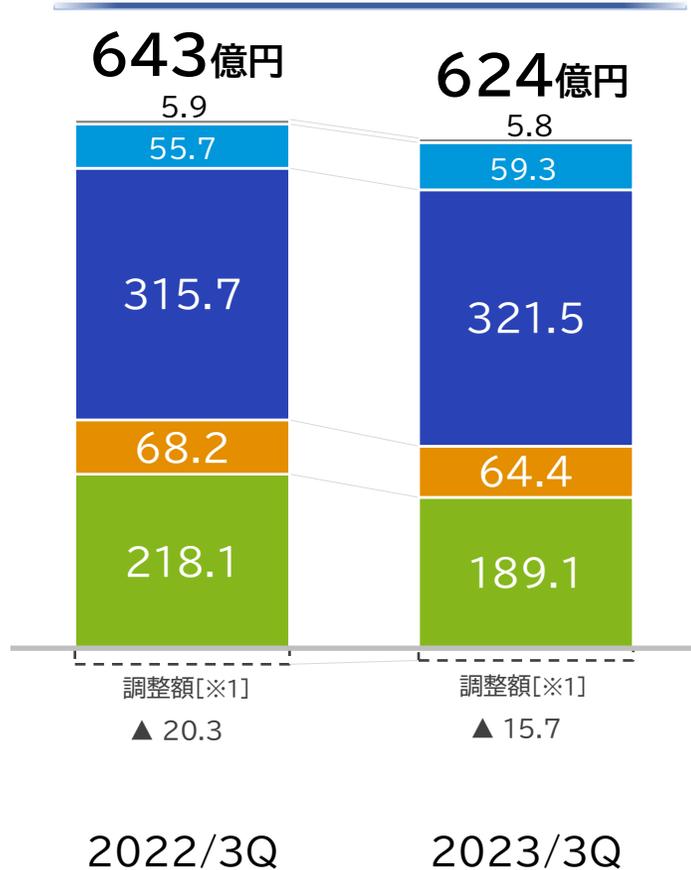
[単位:百万円]



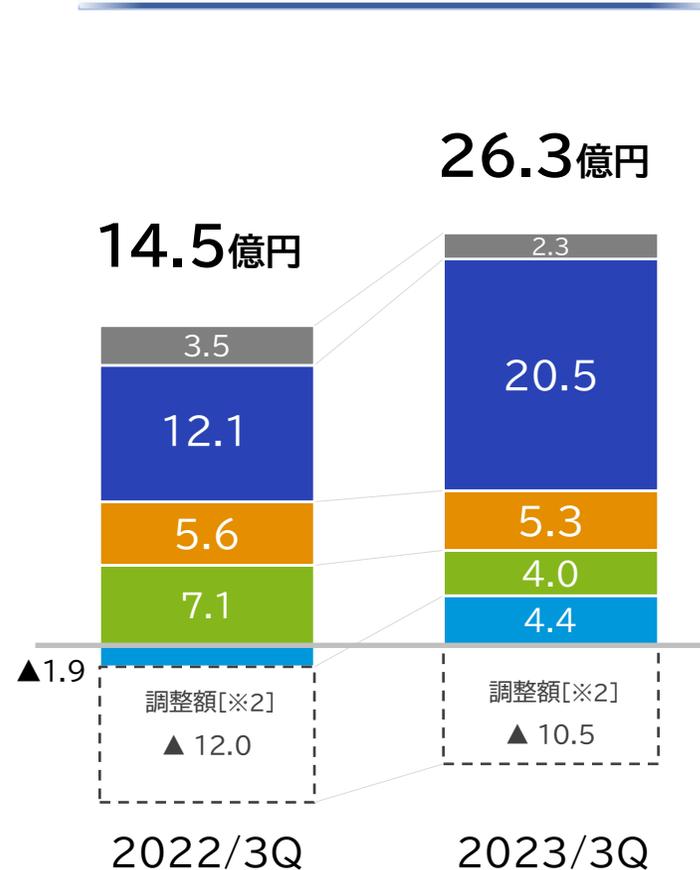
セグメント別の業績(連結)

- 売上高、セグメント利益ともにアパレル事業が牽引
- ブランド・リテール事業の収益性が改善したことにより増益で推移

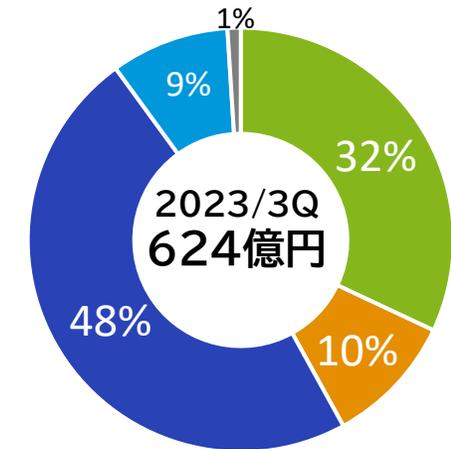
売上高



セグメント利益



セグメント別売上高構成



[※1] 売上高の調整額は、セグメント間取引消去等であります。
 [※2]セグメント利益または損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

■ マテリアル ■ ライフスタイル ■ アパレル ■ ブランド・リテール ■ 不動産



主な増減要因

- 天然繊維は、一部オーガニック系や強撚原系について比較的堅調に推移したものの、依然として国内産地の需要は低調
- 合成繊維は、コスト上昇分の価格転嫁が進まず利益率は低下
- ニット生地販売は、秋冬物の受注が暖冬の影響により低迷

今後の方針

- 既存商材の価格転嫁を進めることによる利益率向上
- 環境配慮型素材に注力し、マテリアルブランドの認知度向上に向けて、シェア拡大の取り組みを強化
- 海外市場向け原系・生地販売体制の強化
- ニット生地は、先行きに明るさが見られる春夏物を積極的に受注

[単位:億円]	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	218.1	189.1	▲29.0	▲13.3%
セグメント利益 (利益率)	7.1 (3.3%)	4.0 (2.2%)	▲3.0	▲43.0%



主な増減要因

- 生活雑貨と化粧雑貨、及びスポーツ関連商材は、消費者購買意欲の回復やインバウンド需要の効果により、堅調に推移
- ダストコントロール商材は、新製品の一巡により生産調整局面を迎え、販売が鈍化

今後の方針

- 顧客ニーズに対応した新規素材による高付加価値商材の提案強化
- 次世代素材、環境配慮型素材の開発を強化

[単位:億円]	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	68.2	64.4	▲3.7	▲5.5%
セグメント利益 (利益率)	5.6 (8.3%)	5.3 (8.4%)	▲0.2	▲4.5%



主な増減要因

- 消費者購買意欲、インバウンド需要の回復や店頭販売価格の上昇機運のなか、コスト圧縮効果により増収増益
- イベント・大会等の回復傾向により、テーマパーク、スポーツ・ユニフォームが堅調に推移
- 秋冬物は暖冬の影響を受け軟調

今後の方針

- 主要顧客への提案・取り組み及び中高価格帯向けビジネスの強化
- ブランドライセンス事業の拡大
- チャイナリスク回避を視野に入れたASEANでの生産拡充及び原料調達を含めた体制化を推進

[単位:億円]	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	315.7	321.5	+5.8	+1.9%
セグメント利益 (利益率)	12.1 (3.8%)	20.5 (6.4%)	+8.4	+69.5%

ブランド・リテール事業



主な増減要因

- 卸売は生産・販売ともに概ね計画通りに着地できたことが貢献
- 暖冬の影響は限定的であり、主力のダウンジャケット販売は堅調

今後の方針

- ブランド事業は、冬の実売期において販売機会ロスをなくし、既存店の拡販を強化
- 海外におけるマーケティング及びブランディングを強化
- リテール事業は、計画通りに出店を進め、既存店ではMDの見直しとプロモーションの実施に注力

[単位:億円]	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	55.7	59.3	+3.5	+6.3%
セグメント利益 (利益率)	▲1.9 (-)	4.4 (7.5%)	+6.4	—

バランスシート(連結)

[単位:億円]

2023年3月期末

現預金 109	有利子負債 140	純資産 362
棚卸資産 104	他負債 227	
他流動資産 350		
固定資産 165	その他の包括利益累計額合計 16	

2024年3月期 第3Q末

現預金 61	有利子負債 150	純資産 387
棚卸資産 99	他負債 205	
他流動資産 404		
固定資産 178	その他の包括利益累計額合計 27	

■財務健全性

	2023年3月期末	2024年3月期 第3Q末	増減
総資産	730	744	+14
有利子負債	140	150	+10
自己資本	362	387	+25
自己資本比率	49.7%	52.1%	+2.4pt

■資本効率

	2023年3月期末	2024年3月期末 (予想)	増減
ROE	2.9%	5.2%	+2.3pt

※ROE(通期予想) = (業績予想 親会社株主に帰属する当期純利益) ÷ ((期首自己資本 + 予想期末自己資本) ÷ 2) × 100

中期経営計画の取り組み状況

5つの基本戦略

中期経営計画2026では、「事業」「グローバル」「グループ経営」「人材」「ESG」の5つを基本戦略として、「VISION」の実現に向けてグループ一丸となって取り組む3カ年として活動しています。

基本方針



基本戦略

ヤギグループの持続的成長の基盤作り



2026年3月期 財務目標

売上高(平均成長率) **950**億円 (3.0%)

経常利益(利益率) **32**億円 (3.3%)

資本効率 ROE **6.0%**以上

中期経営計画の取り組み状況

北陸ヤーンフェア(2023.11.14-15)出展



2023年11月に福井県産業会館にて開催された「北陸ヤーンフェア2023」に出展いたしました。

当社グループのVISIONの1つである「ヤギグループは人・地域・国を結びながら、マテリアルからアパレル、ブランド・ライフスタイルに至る繊維の可能性をイノベーションによって引き出していく」を達成するために、当期からスタートした中期経営計画内のESG戦略においてサステナビリティを重視しています。

当展において、オーガニックコットン糸やリサイクル糸などの環境配慮型素材を中心に、様々な素材の紹介・提案を行い、当社独自の仕組み「Cotton iD」※についても紹介を行いました。

※Cotton iDとは、農場から糸まで、複数の国際認証をつないで管理する当社独自のトレーサビリティを実現した仕組み。

中期経営計画の取り組み状況

▶▶▶ TATRAS × Keith Haring コラボレーションコレクション



当社グループ会社の株式会社WEAVAが展開するブランド「TATRAS」が、80年代の米国のアートシーンを築き上げてきたKeith Haring(キース・ヘリング)とのコラボレーションコレクションを2023年11月に発表しました。

今回のコレクションは、「TATRASを纏うことでポジティブになってほしい」というブランドテーマとキース・ヘリングが願う「誰でもアートを楽しんでほしい」というビジョンが重なり実現。キース・ヘリングならではの「ラインアート」と「LOVE」をテーマとするグラフィックアートを落とし込んだダウンアイテムや、カットソーなどを展開しています。

本コラボレーションを記念して、原宿でPOP-UP STOREを開催し、キース・ヘリングが活躍を広げる原点となったNYの地下鉄からインスピレーションを受けた特別な世界観を表現しました。

中期経営計画の取り組み状況

株式会社WINWIN YJVが運営する「NIKE NAGOYA SAKAE」がオープン



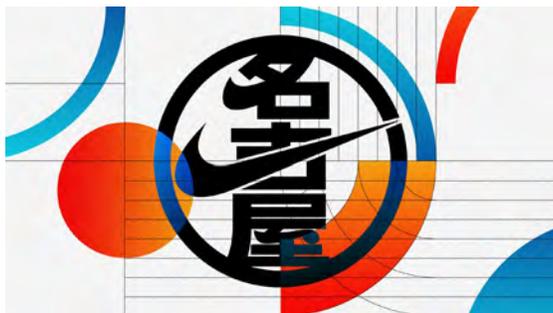
当社が韓国のスポーツアパレル小売企業であるWINWIN SPORTS社と共同出資して設立した株式会社WINWIN YJVが運営するNIKE Riseのコンセプトストア「NIKE NAGOYA SAKAE」が、2023年10月19日にオープンしました。

「NIKE NAGOYA SAKAE」は、革新的なパフォーマンス、スタイル、最新のトレンドに関心のあるお客様のためのプロダクトが厳選された「NIKE Rise」コンセプトストアです。

名古屋でスポーツを楽しむ全ての人々が気軽に立ち寄れる店舗として、新商品の展開や、地域とストアがつながるコミュニティ活動を通して、お客様のニーズに合わせたサービスを提供しています。

今後も株式会社WINWIN YJVは、NIKEとの強いパートナーシップとNIKEに対する深い理解を持ち、様々なサービスを通して、お客様の健康と幸せ、生活の質向上を目指していきます。

(株式会社WINWIN YJV WEBサイト: <https://winwinyjv.com/>)



WINWIN
Y J V

中期経営計画の取り組み状況

▶▶▶ 当社が取り組むSDGsの成果指標・数値目標を設定



当社は、「持続可能な企業であるための環境改善」、「持続可能な未来のために環境問題を解決」、「未来のライフスタイルへの提案」、「企業の社会的責任」という4つのミッションステートメントのもと、マテリアリティ(重要課題)の設定と対応を通じて経営戦略を加速させることで、社会とヤギグループの持続的成長を目指しています。

さらに、マテリアリティを環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)の3つの領域に整理し、中期的な目標値を設定することで、中期経営計画「Heritage to the future」の基本戦略の1つに掲げるESG戦略を着実に推進してまいります。

(当社WEBサイト「サステナビリティ」: <https://www.yaginet.co.jp/sustainability/index.html>)

株主還元方針

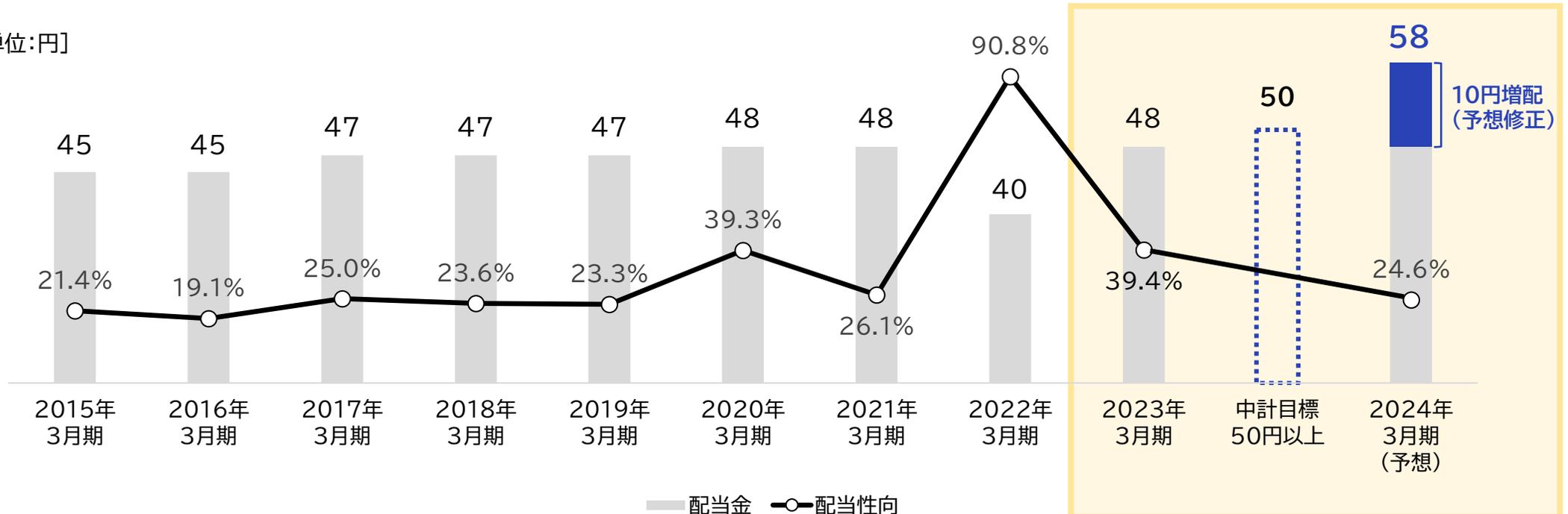
- 株主の皆様への利益還元を、経営の最重要政策のひとつとして位置付けております。
- 配当につきましては、長期的な視野で安定した利益還元と、経営基盤強化のための内部留保充実をバランスよく行っていくことを基本方針としております。

配当金の推移

中期経営計画2026
配当最終年度目標

配当金50円以上

[単位:円]



【ご参考】セグメント体制一覧

マテリアル事業	ライフスタイル事業	アパレル事業	ブランド・リテール事業	不動産事業
<p>ヤギ 原料・テキスタイル領域</p>	<p>ヤギ ライフスタイル領域</p>	<p>ヤギ アパレル領域</p>	<p>WEAVA TATRAS S.R.L. TATRAS USA LLC 衣料品の製造・販売</p>	<p>マルス 不動産賃貸業</p>
<p>ヴィオレッタ ラッセル織物の製造販売</p>	<p>日本パフ 日帕化粧用具(嘉善) 化粧用パフ及び外衣製造</p>	<p>譜洛革時(上海)貿易 繊維製品の販売</p>	<p>アタッチメント 紳士服・婦人服及び服飾雑貨の デザイン、製造及び販売</p>	
<p>イチメン アパレル向け生地・製品の企画販売</p>	<p>ツバメタオル タオル・バスタオル等の製造販売</p>	<p>YAGI VIETNAM 衣料品の製造・販売</p>	<p>WINWIN YJV 株NIKE JAPANのリテールパートナー としてNIKEストアの運営担当</p>	
<p>山弥織物 燃糸・織物の製造販売</p>	<p>YAGI International INC. YAGI USA 繊維製品及び関連商品の輸出入販売</p>	<p>SOMIC メディアコマース事業</p>	<p>LINGBLE INC. グローバルECプラットフォーム 「Lingble」の運営</p>	
<p>YAGI & CO.,(H.K.) 八木貿易(深圳) 繊維製品及びその原料の輸出入販売</p>		<p>グレイス キャラクター商品の企画・製造・販売</p>		
<p>PROGRESS (THAILAND) 繊維原料・生地・繊維二次製品の 輸出入・販売</p>		<p>FMB 3Dモデリングを中心とした アパレル業界向けテクノロジーサービス</p>		
<p>PT.YAGI INTERNATIONAL INDONESIA 繊維製品の販売</p>				
<p>swatchbook Inc. 世界最大級の3Dデザイン、 デジタルマテリアルライブラリーの運営</p>				



VISION

株式会社ヤギの定める

VISION

ヤギグループは人・地域・国を結びながら、マテリアルから
アパレル、ブランド・ライフスタイルに至る繊維の可能性を
イノベーションによって引き出していく

お客様の声に耳を傾け、社会と共有できる価値を
見出すことにより人々の豊かで快適な生活に貢献し、
社会とヤギグループの持続的成長を結実させていく

それを実現させるために仲間同士がたたえ合い、
健康でイキイキと働く環境を構築する

YAGI

Heritage to the future

本資料は、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に掲載された将来の予測等は、発表の時点で入手可能な情報に基づいたものであり、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。

従いまして、本資料のみに準拠して投資判断されますことをご控えくださいますようお願いいたします。
本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。